

【情報理工学部】令和7年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制

情報理工学部 教学マネジメント委員会

委員長：情報理工学部長 副委員長：副学部長 委員：教務委員、学部教務担当（2名）

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

①カリキュラムマップ

「専門知識・専門技能」の詳細内容（それぞれ3つずつに細分化している「資質・能力」の定義）を再確認し、必要に応じて修正を図る。身に付けるべき資質・能力の理解とカリキュラムマップの活用を授業レベルでも強調し、学部全体への浸透を促す。

②シラバス

2025（令和7）年度に施行する新たな学年暦と授業の実施方法に対応させたシラバスについて、有効性・適切性や問題点・課題を検討する。

③その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

科目ナンバリングについて、カリキュラムマップとの関連性や整合性、利活用の方法を検討する。コースごとのカリキュラムツリーやコース間の関係性の表し方も課題の1つとして挙げられる。

今年度の取り組み

FD ワークショップ等で上記のような課題を取り上げ、議論を教員間で共有する。個別の議論を通して、学部の教学マネジメント方針が科目レベルで浸透するよう努める。実験科目や特別研究科目など、複数の教員で分担して担当する科目についても、その科目全体としての統一的な方針を揃えることに留意する。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題

学習成果実感調査や各種修学アンケートの回答率を向上させる。授業での学修成果に加えて、学生の対外活動（研究発表、コンテスト参加、イベント参加・主催など）の成果把握と可視化についても取り組む。

今年度の取り組み

カリキュラム改編を進めているプログラミング授業での学修状況や成果の動向を引き続き把握する。学生の対外発表を支援するプログラムを継続し、成果公開を進める。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

3年次秋学期の特別研究Ⅰの研究室配属まで進んだ学生は、順調に卒業・進学・就職まで達成できるケースがほとんどである。一方、1年次春学期での授業出席や単位修得、GPAなどが振るわない学生が、その後留年や休学、中途退学に陥るパターンが多発することが、これまでの修学指導分析や教学IR情報からも明らかになっ

ている。また、GPS-A の分析結果や、就職支援担当者の印象として、リーダーシップや協働力、自身の魅力や能力の高さに気づいていないことによる自己アピール不足などが、本学部生に共通する気質として指摘されている。また、高校での「情報」教科の新課程を履修して入学した学生の知識・技能・気質の変化とばらつきの幅について、注意深く知見を集積してゆく必要がある。

今年度の取り組み

入学当初の段階からの低出席や必須提出物への未対応の傾向の学生を早期に拾い出し、修学面談等のサポートを実施する取り組みを引き続き継続する。学生の主体的な対外発表や、大学院も含めた学年間の縦の繋がり・協業を支援するプログラムを継続する。入試において情報科目試験を受験して入学した学生の入学後動向の追跡や、出身高校による「情報」の知識・技能・態度の違いやばらつきの有無の把握を試みる。

アセスメントプランの取り組み

アセスメント科目名	検証方法（在学時）
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータ概論 ・ プログラミング演習 B ・ 情報理工学実験 A・B ・ プロジェクト演習 ・ 情報理工学特別研究Ⅱ A・Ⅱ B 	<input type="checkbox"/> 外部アセスメントテスト（GPS アカデミック） <input type="checkbox"/> 学習成果実感調査 <input type="checkbox"/> GPA <input type="checkbox"/> 在学生調査（在学生生活に関するアンケート） <input type="checkbox"/> 単位取得状況 <input type="checkbox"/> 成績評価
	検証方法（卒業時） <input type="checkbox"/> 卒業研究・卒業論文 <input type="checkbox"/> GPA <input type="checkbox"/> 卒業時調査（4年次生調査） <input type="checkbox"/> 学位取得状況 <input type="checkbox"/> 進学率 <input type="checkbox"/> 就職率

取り組み内容（「8つの資質・能力」の達成方法など）

専門教育科目については、コース要件科目（選択必修）だけでなく、コース推奨科目（選択）の履修割合の向上も促す。また、学生の対外発表活動を促進し、その成果を学生に周知して意識づけを促す。

その他

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。